



# カウンター化粧バルブ

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、カウンター化粧バルブをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意 施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損など)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**△ 注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**!** 必ず実行していただく  
「強制」を示します。

**○** してはいけない  
「禁止」を示します。

**△** 気をつけていただきたい  
「注意」を示します。

### 施工上のご注意

**!**  
必ず実行

- 配管内のゴミや砂等は完全に洗い流してください。
- 各部の接続を行う際はパッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ずご確認ください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。
- 給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁内)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

**○**  
禁止

- 凍結が予想される場所には設置しないでください。凍結破損により漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えるしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

### 使用上のご注意

**!**  
必ず実行

- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉じると配管に衝撃が加わり、配管から漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 可動部が固く動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因となるため修理をご依頼ください。

**○**  
禁止

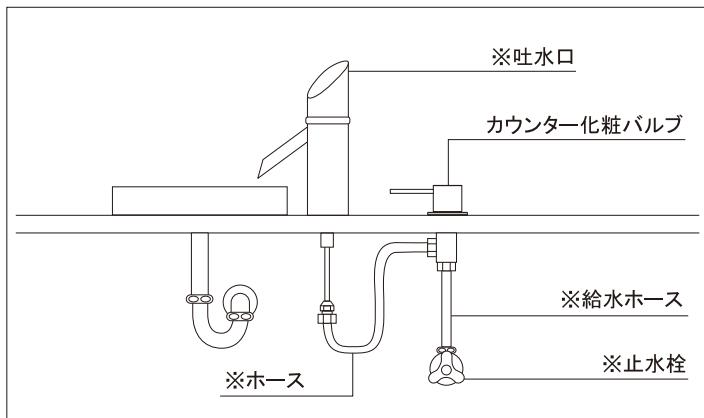
- 凍結が予想される場所では使用しないでください。凍結破損により漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えるしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

**△**  
注意

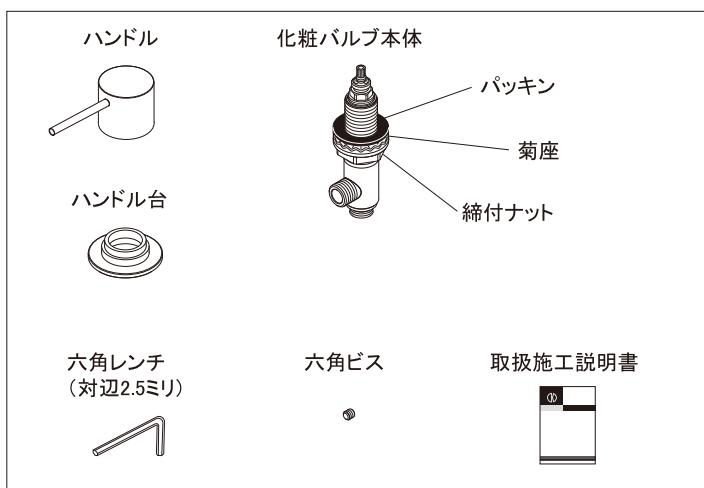
- 本品は、外観の色合いを楽しんでいただく製品であり、表面に塗装または特殊処理を施しています。通常の表面仕上げ(ニッケルクロームめっき)とは異なり表面がやわらかいため、使用環境および使用方法により外観の色合いの変化や変色等が発生することがあります。ご使用・お手入れの際はご注意ください。

## 施工例

\*別売の吐水口・ホース・給水ホース・止水栓(図中※印)と組合させてご使用ください。  
\*ホースとの取付ネジはG1/2です。



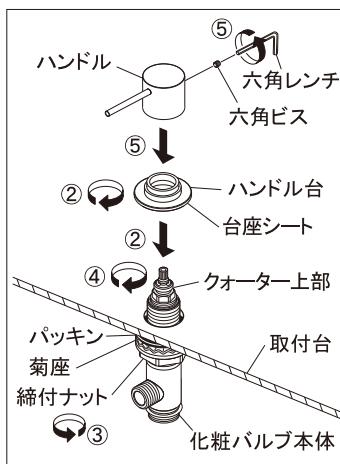
### 製品同梱明細



### 取付方法

\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

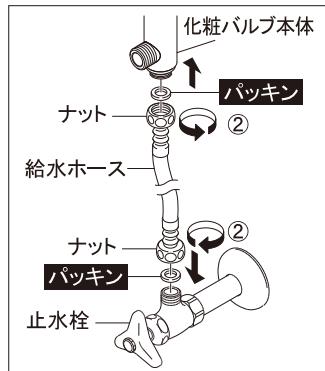
#### 1. 化粧バルブ本体を取付けます。



- 取付台下部から化粧バルブ本体を差込みます。
- ハンドル台下部の台座シートを確認し、ハンドル台を取付台にあたるまでねじ込みます。
- 取付台下部から締付ナットをしっかりと締付けて、化粧バルブ本体を確実に固定します。
- クォーター上部を時計回りにまわし止水位置にします。
- ハンドルが手前に向くようにハンドルをはめ込み、同梱の六角レンチで六角ビスを固定します。

# 取付方法(つづき)

## 2. 止水栓と接続します。



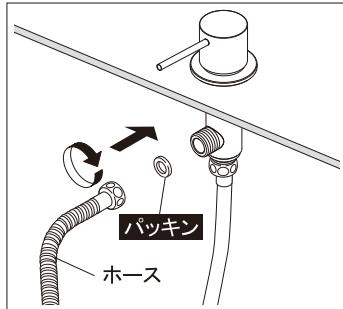
- ①パッキンを給水ホースのナットにはめ込みます。  
②給水ホースのナットにパッキンが入っていることをご確認のうえ、化粧バルブ本体・止水栓にしっかりと締付けて固定します。  
\*パッキンの入れ忘れにご注意ください。



必ず実行  
フレキパイプをご使用の場合、接続する配管は確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマー等の振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

## 3. 吐水口と接続します。

\* 詳細は吐水口の説明書をご参照ください。



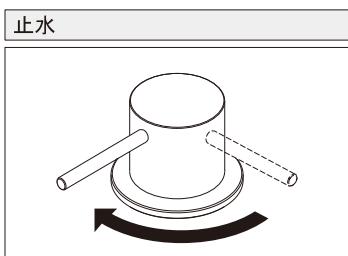
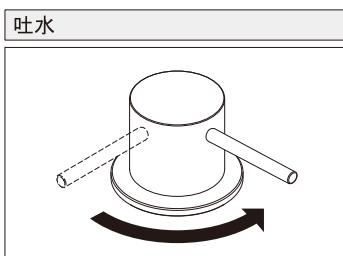
ホースにパッキンをはめ込み、化粧バルブ本体と吐水口にしっかりと締付けます。  
\*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

## 施工後の確認

止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかご確認ください。  
水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉じ、水もれする箇所の施工をやり直してください。

## 使用方法

### ハンドルの操作方法



ハンドルを反時計回りにまわすと「吐水」、時計回りにまわすと「止水」します。

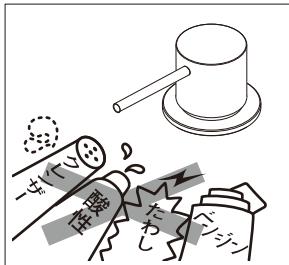


ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉じると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

# お手入れのしかた

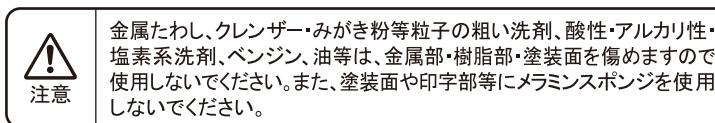
## 器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



●化粧バルブの金属部  
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。

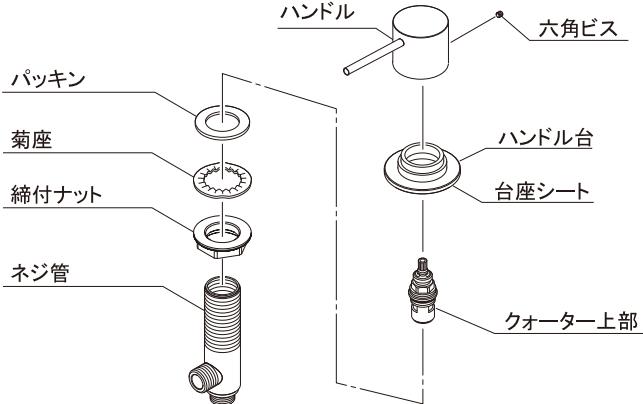
●化粧バルブのプラスチック部・塗装面  
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。



金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油等は、金属部・樹脂部・塗装面を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスponジを使用しないでください。

## 分解図

784-414



\* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。

\* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

## こんな時には…簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に **分解図** を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
吐水量が少ない	●止水栓が閉じすぎている	●適正水量になるまで止水栓を調節する
全く吐水しない	●水がきていない	●止水栓または元栓を開く
止水できない	●クオーター上部の異常	●クオーター上部を交換する
止水不良	●ハンドルと本体との間から漏水	●クオーター上部のゆるみ ●クオーター上部の異常
ハンドルがかたい	●クオーター上部の異常	●クオーター上部を締付ける ●クオーター上部を交換する ●クオーター上部を締付ける ●クオーター上部を交換する

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。